

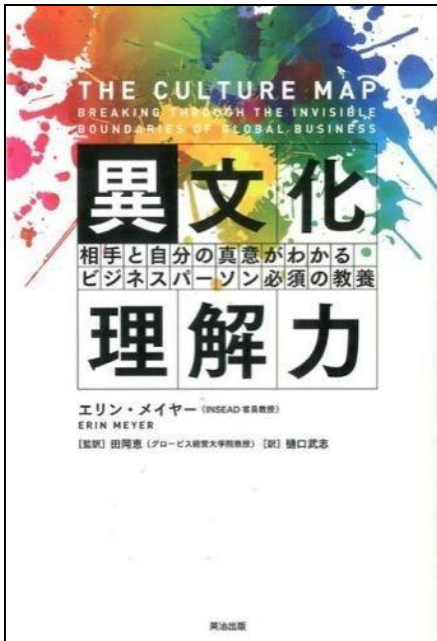


# 創英の風

2023年夏号  
(第25号)

2023年7月6日発行  
発行人: 上條 優子 (図書館長)  
編集人: 図書・研究委員会

## 教職員からのおすすめ本



看護学部 藤原 瑞穂先生  
『異文化理解力 相手と自分の真意がわかる  
ビジネスパーソン必須の教養』  
エリン・メイヤー/著 樋口武志/訳  
出版社名 英治出版  
出版年月 2015年8月

「異文化」と聞くと、「異国の文化」を想像されるかもしれませんが。しかし、本来異文化とは、育った環境、ものの考え方などの異なりを意味します。本書は、生活様式や価値観が異なる人同士が関わる上では、『自分の言動を相手はどう捉えているかを理解すること』が大切である、という見方を教えてくれる一冊です。

この本では、働く人を題材としていますが、同じ目標に向かう者同士がコミュニケーションをはかり、見解の相違を埋めていく上でのヒントが数多く含まれています。社会人としての見識を深めるためにも役立ちます。自分と異なる他者との信頼関係を築くための手がかりとして、この機会に読んでみてはいかがでしょうか。



こども教育学部 濱田 唯先生  
『世界は夢組と叶え組でできている』  
桜林直子/著  
出版社名 ダイヤモンド社  
出版年月 2020年3月

「世の中、『好きなことをやろう!』というメッセージばかりが発信されているけど、やりたいことがない場合はどうしたらいいのだろう? 夢がない自分は、ダメなのか?」…そんな気持ちを抱いている人に届けたい一冊です。著者はやりたいことがない自分のことを「叶え組」と呼び、「やりたいことがない私はどう生きていいのだろう」と模索し続けた結果、たどり着いた考え方を本書で教えてくれています。著者の温かく寄り添ってくれる言葉が私たちの背中を押してくれます。やりたいことがある「夢組」が全てじゃない。世界には、夢組も叶え組も必要なんだ。自分以外の何者かに、無理矢理ならなくていいんだよ。そんなメッセージに触れてみませんか。



## 教職員からのおすすめ本



看護学部 加藤 紀子先生  
『精霊の守り人』新潮文庫

上橋菜穂子/著  
出版社名 新潮社  
出版年月 2007年4月



学生の皆様、初めまして。私は、本年4月より看護学部にて赴任しました。皆さんは、友人からどんなお薦め情報をお願いしますか?カフェやスイーツといった食べ物、文具や身の周りで使うモノ、アニメや動画配信サイトといった番組、でしょうか?友人からはさまざまなお薦め情報がありますね。私は、コロナ禍に友人から『本』を薦めてもらいました。その友人は、著者の上橋菜穂子さんの本がとても好きで、病院の待合室で何度もこの本を読んで、本の世界に引き込まれたと熱く話してくれました。私も手にとって読んでみると、みるみる引き込まれました。上橋菜穂子さんは文化人類学者でもあり児童文学の著者です。舞台となる異世界の政治や文化、人々の暮らしぶりについて、私もそこに存在しているかのように感じられました。温かさや冷たさ、空を飛んだり、ご飯や空気の匂いまで想像していました。

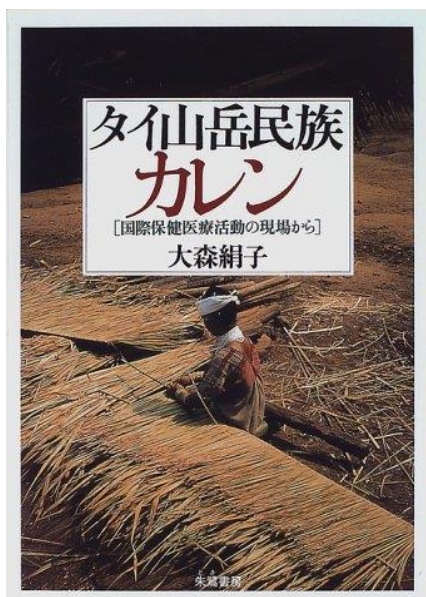
登場人物のチャグム王子や女用心棒のバルサが主な登場人物ですが、立場によって人の思いが絡みあいながら変化していきます。王子チャグムが精霊の卵を宿し、用心棒バルサに守られながら卵を別の異世界に帰していきます。チャグム王子のたくましい成長とともに、物語の最後には運命に逆らえない別れもあります。

守り人はシリーズ化しており、九つの物語があります。大人でも楽しめる物語です。文庫本は持ち歩きできるので、いろんな場所で読んでみてください。

看護学部 上村 いずみ先生

『タイ山岳民族カレン 国際保健医療活動の現場から』

大森絹子/著  
出版社名 朱鷺書房  
出版年月 1997年1月

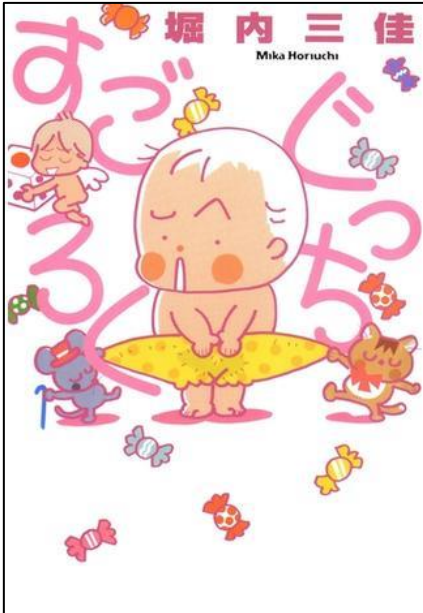


この作品は、1982年に日本キリスト教海外医療協会よりタイ国北部に派遣され、山岳民族カレンの中で保健医療活動を行った、大森絹子さん(後の医療人類学者)の日々の活動記録をまとめたものである。大森絹子さんは、「看護」という職業に魅了され、マザー・テレサのような人生を送りたいと願い、開発途上国で働くことを決心する。日本と異なる環境、文化、言語に戸惑いながらも、人々のために尽くしたいという「使命感」のもと、現地の人々と誠実に向き合い、懸命に活動する彼女の姿は、言い尽くせないほど美しい。

8年前、私は青年海外協力隊としてフィリピンの農村部で母子保健活動を行っていた。現地での生活は、周囲が思うほどドラマチックなものとは程遠く、根気強さと忍耐強さばかりが鍛えられた2年間であった。この本には、そうした途上国での保健医療活動の飾り気のないリアルが描かれており、同時に大森絹子さんの魂の美しさに触れることができ、読者は尊敬を超えた思いを抱くことになるだろう。



# 教職員からのおすすめ本



こども教育学部 江島 絵理子先生  
『ぐっちゃん』フィールコミックスGOLD  
堀内三佳/著  
出版社名 祥伝社  
出版年月 2001年3月

私は、作者の経験や価値観が綴られたエッセイ、特に子育てジャンルのエッセイを読むのが大好きです。中でもオススメなのが、堀内三佳さんの「すごろくシリーズ」です。堀内さんの描く、他愛のない日常や出来事から、子どもの成長はもちろん、それに伴う親の喜びや苦悩を感じとることができます。読みながら、堀内さんの子育てに共感したり、時には疑問を感じたり。そして、大笑いしたり、号泣したり。

今回ご紹介する、シリーズ第一作の『ぐっちゃん』では、出産の様子が描かれていた長女ちゃんも、もう社会人。一緒に子育てをしているような、親戚のような気持ちで、堀内さんの家族を、子育てを見守ることができます。ぜひ、読んでみてください。



図書館 司書 龍口智子さん  
『愛するよりも愛されたい』令和言葉・奈良弁で訳した万葉集1  
佐々木良/訳  
出版社名 万葉社  
出版年月 2022年10月

令和の元号の出典元として話題になったのが日本最古の歌集「万葉集」。天皇から農民まで身分に関係なく詠まれた4500首の歌がジャンルごと編纂されています。この万葉集の恋愛の歌を令和の言葉で超訳したのがこちらの本。

古文というだけで、古の詠み人達の気持ちまで辿りつけない高い壁を令和言葉と軽快な奈良弁の超訳により、現代のツイッター感覚で、一気に時空を超え、人の恋愛感情は今も昔も変わらないと共感できる一冊です。少ない文字数で気持ちを表す日本ならではの美しい文化をととても身近に感じます。

コロナの給付金10万円で一人で出版社を立ち上げた元学芸員が、SNSに投稿した超訳本が面白いと、テレビや新聞でも取り上げられている話題の本です。



# 図書館からのお知らせ

## 夏休み期間の貸出について

下記期間に借りた資料は夏季休暇にともない長期貸出の設定となります。

期間：7月15日(土)～9月14日(金)  
返却期限日→9月29日(金)



実習貸出の場合は、  
期間：7月1日(土)～8月25日(金)  
返却期限日→9月29日(金)

## ノートパソコンが借りられるってご存知ですか？

図書館では貸出用ノートパソコンが4台あります。貸出手続きを行えば、館内のお好きな席で、パソコンを利用できます。

※大学生限定のサービスです。  
※館外持ち出しはできません。  
※手続きには学生証が必要です。



# 展示コーナー歳時記

7月～9月 睡眠について考えてみよう

蒸し暑いこの季節、睡眠が浅くなることで、体力が弱まっていますか？睡眠についての知識を深めるとともに、心地よい眠りの世界に誘う本をご紹介します。



# 図書館開館予定

2023年7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2023年8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

□ 8：30～20：00

■ 10：00～17：00

■ 短縮開館 9：00～17：00

■ 休館日

■ 蔵書点検につき休館

開館日・開館時間は変更になる可能性があります。その際は、掲示等にてご案内いたします。